

「Coollaboratory Liquid Ultra」使用方法

「Coollaboratory Liquid Ultra」はLiquid Pro と効果は変わりませんが、塗りやすくなった商品です。

下記の手順にしたがって、正しい使い方で冷却効果を実感して下さい。

使用法は標準のCPUクーラーへのインストールを示しています。

間違った取り扱いでは、システムの部品が破損する場合がありますのでご注意ください。

ご使用は自己責任でお願いします。いかなるトラブルも保証いたしません。

また、以下のサイトに於いて塗り方の動画配信を行っています。

<http://www.coollaboratory.com/en/products/liquid-ultra/>

なぜ熱伝導グリスや熱伝導シートが必要なのか・どういう効果をもたらすのか？

CPU にCPUクーラーを取り付けても、接着面が平らで無ければその効果は期待できません。接着面にわずかな曲がりやでこぼこがあっても、エアギャップが出来て熱伝導が不十分な状態になります。

この状態でも動作はしますが、中に空気が入ったままですと熱の伝わりは悪くなり、

特に高品質なクーリングシステム（水冷式を使用）では効力を失います。

冷却効果を十分に伝えることが出来ないまま、CPUクーラー自体は冷えているがCPUの温度は上昇するという結果になります。

「Coollaboratory Liquid Ultra」を使うことで、僅かなでこぼこを補いかつ熱伝導率を上げることが出来ます。

空気を遮断しCPUとCPUクーラーを密着させて冷却効果をあげCPUを冷やします。

この製品の使用に際して以下のことに注意してください

1.) 「Coollaboratory Liquid Ultra」は、銅又は銀製のクーラーを使用した高品質CPUクーラー用に作られておりますので、アルミニウムクーラーは適していません(これはクーラーの接触面のみ に当てはまることです)

注意：アルミニウムは、液体金属に対して抵抗力がないため、周りの湿度に反応して

「Coollaboratory Liquid Ultra」と共に合金を形成する可能性があり、黒い染みができ浸食をしてしまいます。

「Coollaboratory Liquid Ultra」はアルミニウムには使わないで下さい。

銅か銀で作られたクーラーを使用してください！

2.) 他の金属と同じように、「Coollaboratory Liquid Ultra」も電気導伝があります。

「Coollaboratory Liquid Ultra」がCPUとCPUクーラーの接着面以外に付着しないように注意して下さい。

もしPCの他の場所に付着したときは完全に拭き取って下さい。付着した量によってスポイトやペーパータオルを使っても良いと思います。

最後はアルコールで拭き取るときれいになります。

注意：ケース内にホコリが溜まると、ほこりが熱伝導を引き起こす可能性がありますのでケース内は定期的に掃除することをお奨めします。

準備

「Coollaboratory Liquid Ultra」は従来のものより熱伝導率が良い商品ですが、以前に熱伝導グリス、熱伝導シートを使用したことがある場合は極めて微細に表面に付着しているため、「Coollaboratory Liquid Ultra」とクーラーの間に絶縁層を形成します。

「Coollaboratory Liquid Ultra」を使用する前に、以前に使った熱伝導グリス、熱伝導シートを徹底的に取り除くようにして下さい。付属の研磨スポンジなどで表面を研磨し、最後にアルコール等できれいに仕上げして下さい。

新品の場合でもCPUとCPUクーラーの両方をきれいにすることが重要です。きれいな布を使いアルコール等で拭いて下さい。表面にほこり・グリスが残ったままの状態では使用しないで下さい。（指紋も不可）

重要：拭き取りが不十分な場合、機能を十分に発揮出来ないことがあります。

CPUクーラーに熱サーマルパッドを装備している場合は、使用する前に取り除いて下さい。熱サーマルパッドは加熱するとパラフィンが溶け出し、極めて微細にCPUクーラーの表面につきまします。このような状態を避けるために、使用しているサーマルパッドが溶け出す前にパッドを取り外して下さい。

このとき、お湯を使用しないでください。熱でパラフィンがさらに溶けて、エアギャップに入ってしまう。すでに入ってしまったときは、CPUクーラーの表面を研磨してください。

「Coollaboratory Liquid Ultra」を使用するための最適条件は、接着面をきれいにした銅製のクーラーを使うことです。素手で触って指紋を付けないように気を付けて下さい。指紋の付いたところにギャップができ、その部分だけ「Coollaboratory Liquid Ultra」が付かず効果が半減します。

警告：必ず回りにアルミニウムが接触するような場所が無いことを確認して下さい。

アルミニウムがある場合「Coollaboratory Liquid Ultra」の使用は避けて下さい。

※CPU プロセッサに使用されているヒートスプレッダーはアルミニウムから成るのではなく、ニッケルでメッキされた銅から成ります。

アドバイス：ニッケルでメッキされた表面に比べると、銅そのものの表面に塗る方が塗りやすいです。

“Coollaboratory Liquid Ultra” 使用方法

手順 1

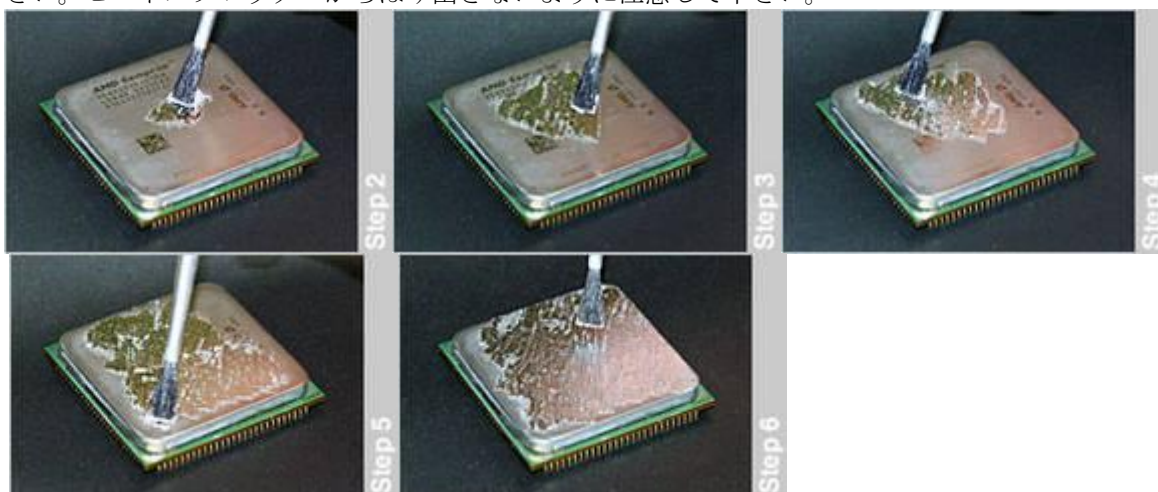
少量の「Coollaboratory Liquid Ultra」をCPUクーラーの表面のセンター部分に付けて下さい。注射器の目盛り3～4目盛りで十分です。



少ないと感じるかもしれませんが、最初は少量を使用してください。「Coollaboratory Liquid Ultra」の目的は、接着面にできるエアギャップをなくすことです。CPUクーラーから垂れるほどつける必要はありません。

手順2～6

付属のハケで「Coollaboratory Liquid Ultra」を均等に広げて根気よく伸ばして下塗って下さい。ヒートスプレッダーからはみ出さないように注意して下さい。



手順7

完成です。



CPUクーラーのインストール

CPUとCPUクーラーを貼り合わせて下さい。

この時、互いの接着面を回したり滑らせたりしないように気をつけて下さい。

熱を効果的に逃がすことが出来ず、対応する表面の間で空気クッションが形成されてしまいます。

上から押さえるだけで十分です。

(お使いのCPUクーラー)メーカーの指示に従って、CPUクーラーとそのデバイスを取り付けてください。CPUの上にCPUクーラーが平坦になるように置いて下さい。

CPUコアとCPUクーラーの表面との接触をチェックし、CPUクーラーとCPUの縁が平行になるように取り付けて下さい。ファンの電源をマザーボードに接続することを忘れないでください。

「Coollaboratory Liquid Ultra」を塗ったクーラーを垂直に立てた時に、流れるようであれば塗る量が多すぎるということです。ペーパータオルで拭き取って下さい。

注意: 「Coollaboratory Liquid Ultra」は多量に塗ると接着面からはみ出して流れ出ることもあります。はみ出して他の部分に着いたりしないように適量を塗って下さい。はみ出したりこぼれた状態でパソコンの電源を入れないで下さい。

Coollaboratory Liquid Ultra を取り除く。

CPU か CPU クーラーから、「Coollaboratory Liquid Ultra」を取り除きたい場合は、直接拭いてください。アルコールで拭くことも効果的です。除去しにくいときは研磨スポンジを使って取り除いて下さい。

注意：「Coollaboratory Liquid Ultra」を CPU に塗った場合、CPU 上の文字が判読不能となる場合があります。

使用効果は大きいですが、反面、使用には十分注意が必要です。

ご使用は自己責任でお願いします。いかなるトラブルも保証いたしません。

Distribution by:

Coollaboratory
Michael Metzke
Mittagstr. 38
39124 Magdeburg

E-Mail: vertrieb@coollaboratory.com
Internet: www.coollaboratory.com